

# やまなし歴史の道を活用した 観光商品(コース、ツアーなど)の造成のポイント

これまでに述べてきた内容を踏まえて、今後の「やまなし歴史の道」を活用したコースやツアーづくりのヒントにさせていただくための、ポイントを整理しました。各地域でのこれからの取組に御活用ください。

## 1. 観光資源の発掘と整理～テーマ探索～磨き上げ

取組	ポイント
「やまなし歴史の道」に関わる地域資源を整理する	<input type="checkbox"/> 「やまなし歴史の道」の面白さを構成する素材、道沿いにある資源などを整理します(建築物、特徴的な自然環境や風景だけでなく、歴史上のエピソードや、伝承されてきた生活文化など)。 <input type="checkbox"/> 文献(市町村史、図書館の地域史コーナーの書籍、博物館等で行われた展覧会の図録、研究論文など)の調査や、現地踏査を行います。 <input type="checkbox"/> 地域の文化財担当職員、学芸員、史談会、地元住民、研究者、ガイド等に話を伺ったり、取組に協力していただくことも検討します。
地域資源を俯瞰し、ツアーやコースのテーマ・ストーリーを探索する	<input type="checkbox"/> 複数の資源に共通するものごと、場所、時代などを手掛かりにテーマ・ストーリーを探索します。地図などにプロット整理することも有効です。 <input type="checkbox"/> 歴史の道を核として、どのようなメッセージを伝えたいか、訪問客はどのようなことに興味を抱いてくれるか、当地に固有な事象は何かなどを検討します。 <input type="checkbox"/> テーマやストーリーを手掛かりに、地域資源のことを更に深く調べていきます。

## 2. モデルコースづくり～コースの活用・発信

手順	ポイント
モデルコースを作る	<input type="checkbox"/> コースはテーマ展開に合わせることが基本ですが、参加者の利便性にも配慮します(スタートとゴールは公共交通等の拠点、駐車場、道の駅に設置する等)。 <input type="checkbox"/> 沿線での飲食、買物などのスポットを考慮し、地域内消費につなげることも取組を持続するうえで重要です。 <input type="checkbox"/> コースを巡る移動手段もイメージします(徒歩、自転車、公共交通、自家用車、馬など)。 <input type="checkbox"/> 交通安全、危険箇所の確認のほか、公衆トイレの利用可否やバリアフリーの対応状況、沿線の飲食店や土産店などの営業日・時間なども確認します。 <input type="checkbox"/> 現地踏査や所有者や関係者へのヒアリングなどを通じて、観光活用上の留意点も探ります(例:観光客の来訪が好まれない場所、植生や文化財の保全上の懸念、坂道や階段が長い、思いがけない素晴らしい眺望があるなど)。 <input type="checkbox"/> 土地所有者や、主たる関係者(ステークホルダー)を確認し、コースとしての利用や協力の可否を相談します。 <input type="checkbox"/> 道が複数の自治体にまたがる場合、広域連携の可能性も探ります。
モデルコースを活用・発信する	<input type="checkbox"/> コースの情報を整理して、地域の独自の広報媒体(ホームページや広報など)を軸に情報を発信していきます。地域内の関連機関や県、広域振興団体、メディア、旅行会社などに情報を提供します。 <input type="checkbox"/> セルフガイダンスツールや周遊促進ツールを活用します。 <input type="checkbox"/> 沿線の飲食店や土産店に、来訪者への案内や、チラシの配布やポスター・POP等の掲示、イベント時の協力等と呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 地元事業者や関係団体、文化施設等と連携し、コースを活用する現地発着ツアーや体験プログラム、地域イベントなどを企画・実施します。 <input type="checkbox"/> 問い合わせ先、トラブル時・道迷い時の相談窓口を明確にします。

## 3. 魅力を伝える人(ガイド等)の発掘・養成

手順	ポイント
案内人を探す	<input type="checkbox"/> 地域資源に関連する仕事や趣味、暮らしなどに愛情や情熱を持っての方を探し、案内人の候補として協力を依頼します。
「やまなし歴史の道」のガイドを養成する	<input type="checkbox"/> 市民ガイドやボランティアガイドを養成する研修等を実施する場合、地域のガイド団体、専門家(プロガイド、研究者、学芸員ほか)などの協力を得ることも検討します。 <input type="checkbox"/> 飲食店や土産店、観光案内所スタッフ、観光担当行政職員など、来訪者と直接接する機会が多い方の研修受講も検討します。

## 4. ツアーやプログラムの造成・実施

手順	ポイント
目的・ターゲット・メッセージを整理する	<input type="checkbox"/> 目的(何を指す取組か)を整理します(例:資源や地域の知名度アップ・イメージアップ、市民の活躍機会づくり、消費拡大など)。 <input type="checkbox"/> ツアーの対象(ターゲット)と対象に伝えたいメッセージを整理します。
体制を決める	<input type="checkbox"/> 旅行会社と協働による企画、地域の事業者・観光協会(DMO)などによる企画など、実施体制を整理します。 <input type="checkbox"/> 専門ガイド・案内人の同行を検討します。(エリア別に複数人で分担してもOK)
内容を定める	<input type="checkbox"/> 対象(ターゲット)に響くキャッチコピーを検討します。 <input type="checkbox"/> メインとなる体験を軸に、日程、規模、前後の行程を決めます。 <input type="checkbox"/> 普段は見られない、通常立ち入れないといった特別な体験(今だけ、ここだけ、あなただけの体験)ができなかが検討します。 <input type="checkbox"/> セルフガイダンスアプリなどの情報ツール、配布資料、小道具などの活用を検討します。内容によって、詳しい資料を事前・事後学習用に配布することも検討します。 <input type="checkbox"/> 適切な移動手段を検討します。大型バス等を使用する場合はアクセス可否も確認します。 <input type="checkbox"/> 飲食や土産は旅の楽しみであり、地域での消費機会でもあることから、積極的に組み込みます。その際は、コースのストーリーとの関連も考慮します。 <input type="checkbox"/> 旅行代金を地域資源の保全継承に還元する仕組みも検討します。
参加者を集める	<input type="checkbox"/> ターゲットに合わせた方法で募集告知をします(市町村報に掲載、ホームページ、SNS、マスメディア、旅行会社の媒体、OTAでの販売など)。 <input type="checkbox"/> 参加者を名簿化し以降の案内に活用します(個人情報取扱に留意します)。
実施する	<input type="checkbox"/> ツアーやプログラムの冒頭で行程の全体像や伝えたいメッセージ(アンケートなどに書いていただきたい感想)につながる問いかけを行います。 <input type="checkbox"/> 解説を行う場合はタイミングに留意します(静かな場所、往来が少ない場所)。また、適宜マイクスピーカーなども用意します。 <input type="checkbox"/> 実施風景等を撮影し、次回以降の広告宣伝に活用します(事前に参加者の了解を得る必要があります)。
振り返る	<input type="checkbox"/> アンケート等で参加者の感想を把握し評価を行うと共に、以降の取組の参考にします。 <input type="checkbox"/> アンケート結果は、関係者にフィードバックすると共に、今後も協力いただける関係を維持します。